平成26年4月23日(水)に朝日出張所と災害時協力協定業者(11社)が、災害時の情報伝達方法や 点検項目を確認するため、洪水時巡視訓練を行い ました。

洪水で川の水位が高くなると、事前に協力体制を準備している地元の建設会社が、すぐに川へ巡視に向かいます。

堤防・護岸・樋管等の被災状況や水位・浸水状況を把握することで、洪水被害を最小限に留めるよう、万全の体制で洪水に備えています。



量水板(水位表示)の点検状況



3人1組での巡視状況



訓練の打合せ状況(朝日出張所にて)



桶管の点検状況



発 行 所 武雄河川事務所 朝日出張所

武雄市朝日町大字甘久1521-6 (〒843-0001) TEL(0954)22-3014 FAX(0954)22-3014

ホームヘ゜ーシ

http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/

7月1日 第 2 号

紙面の問い合わせ 上記発行所へ

平成26年4月25日(金)のGW前に、朝日出張所が川の利用者と 親水施設の安全利用点検を行いました。

今後、施設の補修や注意表示設置を行います。

近年、夏休みなど河川利用者が多くなる時期に、幼い命が犠牲となる大事故が発生する事例があります。このような背景を踏まえ、六角川の①高橋自然観察園、②潮見橋下流親水護岸について、利用者の観点から安全点検を実施しました。



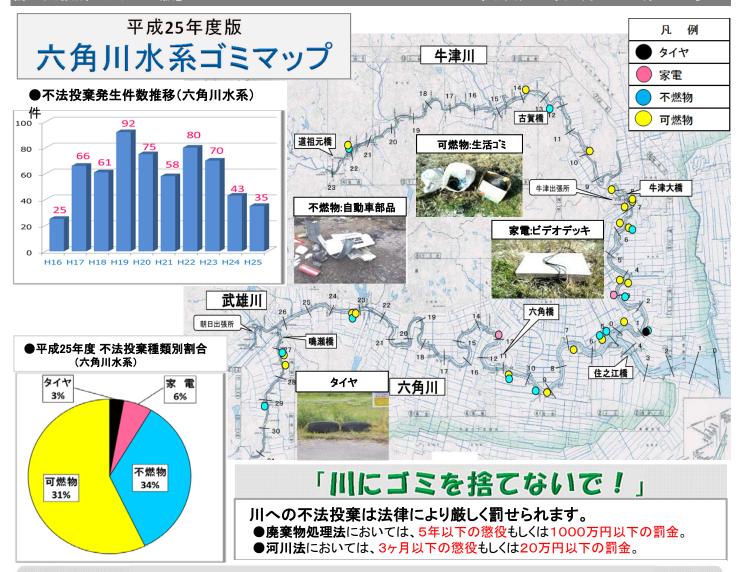
│ 奥へ入り込むと危ないのでは?



①高橋自然観察園ベンチの点検状況 ②潮見橋下流親水護岸の点検状況



注意表示設置「ここから先は入らないで」



油流出事故の未然防止にご協力を!

油流出事故の多くは、工事・店舗・農家・一般家庭などの管理ミス、交通事故、不法投棄等により流出した油が、水路や道路側溝を通じて河川に流れ込むことにより発生します。近くに河川がなくても水路や道路側溝はどこかで河川につながっています。油流出事故が起きると川の水が汚染されて、魚や水生生物に被害を与えたり、水道水を川から取水できなくなるなど、私たちも生活環境に重大な支障をきたします。「油流出事故の未然防止にご協力ください!」





交通事故で車両の燃 料タンクから油流出



民家の軽油ポリ容器 が倒れて油流出



ビニールハウスのボイラーが破損し重油流出



油の回収状況
(オイルフェンス・吸着マット設置)

★事故を起こした・発見した場合

消防署・警察署・保健所 市役所・町役場 佐賀県 土木事務所 国土交通省 武雄河川事務所 へご連絡ください!

油流出事故を起こした人の責任です!

河川などに流出してしまった油の回収には、オイルフェンスや油の吸着マット、吸着剤などを使用し、 多くの人手が必要となります。かかった費用は油を流出させた「原因者が負担する」ことになります。 農業・漁業、水道等への被害があった場合は、「損害賠償を求められる」こともあります。